

# 緑の風 NEWS

JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2024年 8月29日 No.18

## これがJR東日本の職場現実① 「融合と連携」の職場実態を検証していこう!

8・8本部集会では、各職場の現状が発言されました。しかし、安全で働きがいを感じることができる職場環境とはほど遠い職場現実が出されました。

### 【運輸職場】

統括センター化で車掌が少なくなり、運転士の相互運用によってすべて補う姿勢で業務範囲を拡大させている。入換担当の見習いも始まっている。

管理者に教育や訓練の説明を求めても、明確な回答が出されず車掌指導に計画・教育・訓練のすべてを丸投げして、勤務が回らない日は運転士も車掌として乗務をしている。車掌不足は職場全体が認識していて、勤務作成者もそれを見越して前々から発信するも現実が悪化している。



### 【営業職場】

改札を無人や呼び鈴対応にして、バックヤードで企画業務やコンコースで販売促進をしている姿を見たお客さまから「なぜ、駅員が改札にいないでコンコースのワゴン販売の呼びかけを行なっているのか」と苦情が上がる。

### 【運輸職場】

要員不足を調査した結果、車掌が必要要員から5名足りないことが明らかになった。臨時行路が発生しても波動要員は0名。

休日出勤の連続、通常行路を本人に承諾を得て乗務する「増し乗務」が頻繁に発生。駅へ行く「その他時間」も行かず、乗務に回す。乗り切れない列車を他区に回す。等の異常な職場実態だ。月の年休申し込みは約157件であり、うち時季指定は約12件で、時季変更権行使の数は145件の実態も明らかになっている。



## 安全・サービスが損なわれる施策には反対です!